

2019年3月期決算説明会

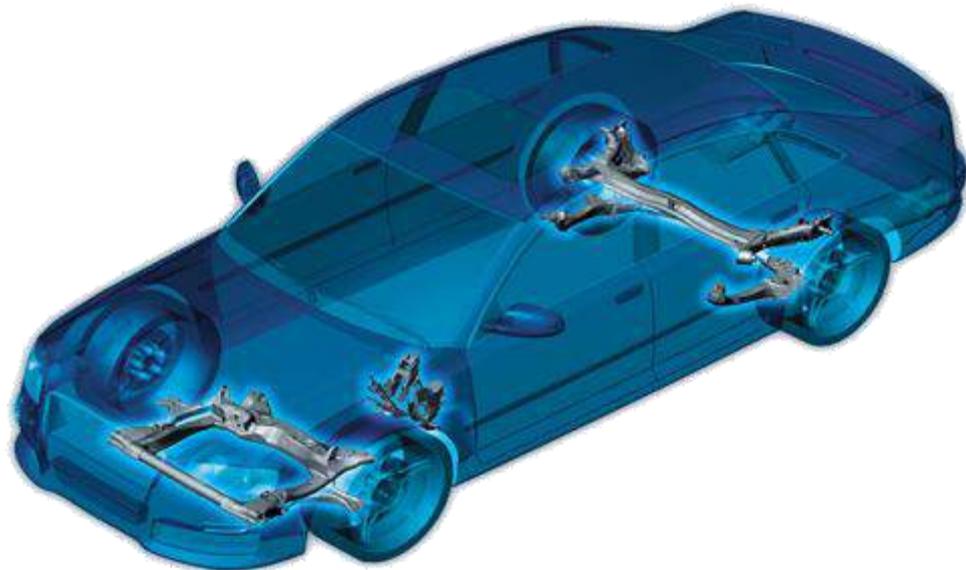
2019年5月10日

株式会社エフテック

東証1部:7212

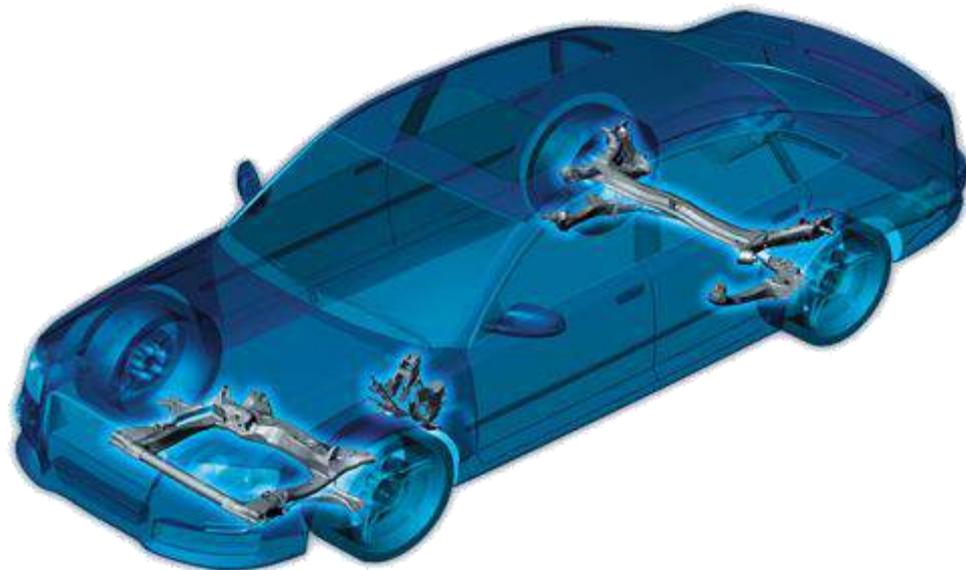
<https://www.ftech.co.jp>

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

連結決算概要(前年同期比)

(単位:百万円)

	2018年3月期 実績		2019年3月期 実績		増減	
売上高	226,060	100.0%	235,361	100.0%	9,300	4.1%
営業利益	6,856	3.0%	6,580	2.8%	▲275	▲4.0%
経常利益	5,924	2.6%	5,968	2.5%	43	0.7%
親会社株主に帰属する当期 純利益	4,709	2.1%	2,844	1.2%	▲1,864	▲39.6%
1株利益(円)	262.98	—	152.30	—	▲110.68	▲42.1%

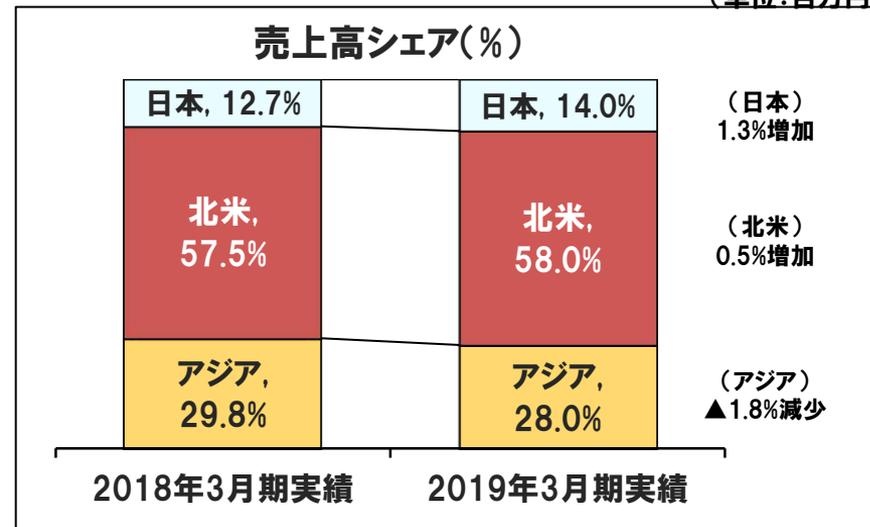
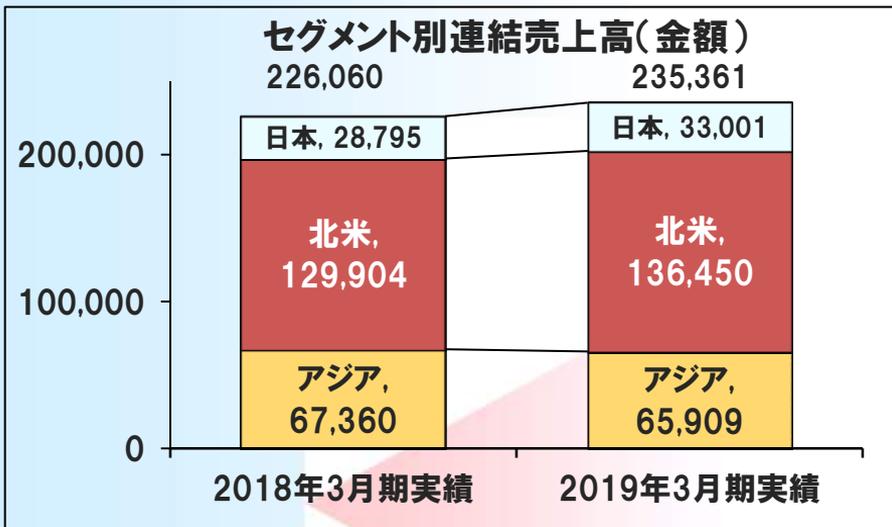
為替

	2018年3月期	2019年3月期	増減額
1US\$	110.71円	111.08円	0.37円
1CAN\$	86.41円	84.48円	▲1.93円
1人民元	16.63円	16.64円	0.01円

増収減益(増収:新規受注の通年効果、減益:北米の商品、アジアの製品売上減少影響)

連結売上高(前年同期比)

(単位:百万円)



連結売上高増減

	'18年3月期	'19年3月期	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	28,795	33,001	4,206	14.6%	—	4,206	14.6%
北米	129,904	136,450	6,545	5.0%	▲1,294	7,839	6.0%
アジア	67,360	65,909	▲1,451	▲2.2%	0	▲1,451	▲2.2%
連結	226,060	235,361	9,300	4.1%	▲1,294	10,594	4.7%

連結売上の86.0%が海外拠点。売上は堅調。

セグメント別営業利益(前年同期比)

(単位:百万円)

	金額			
	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 実績	増減	増減率
日本	1,744	921	▲822	▲47.2%
北米	▲1,878	▲54	1,823	-
アジア	6,684	5,275	▲1,408	▲21.1%
合計	6,549	6,142	▲407	▲6.2%
調整	306	438	131	43.0%
連結	6,856	6,580	▲275	▲4.0%

シェア		
2018年 3月期 実績	2019年 3月期 実績	増減
25.4%	14.0%	▲11.4%
▲27.4%	▲0.8%	26.6%
97.5%	80.2%	▲17.3%
95.5%	93.3%	▲2.2%
4.5%	6.7%	2.2%
100.0%	100.0%	-

営業利益増減要因

日本

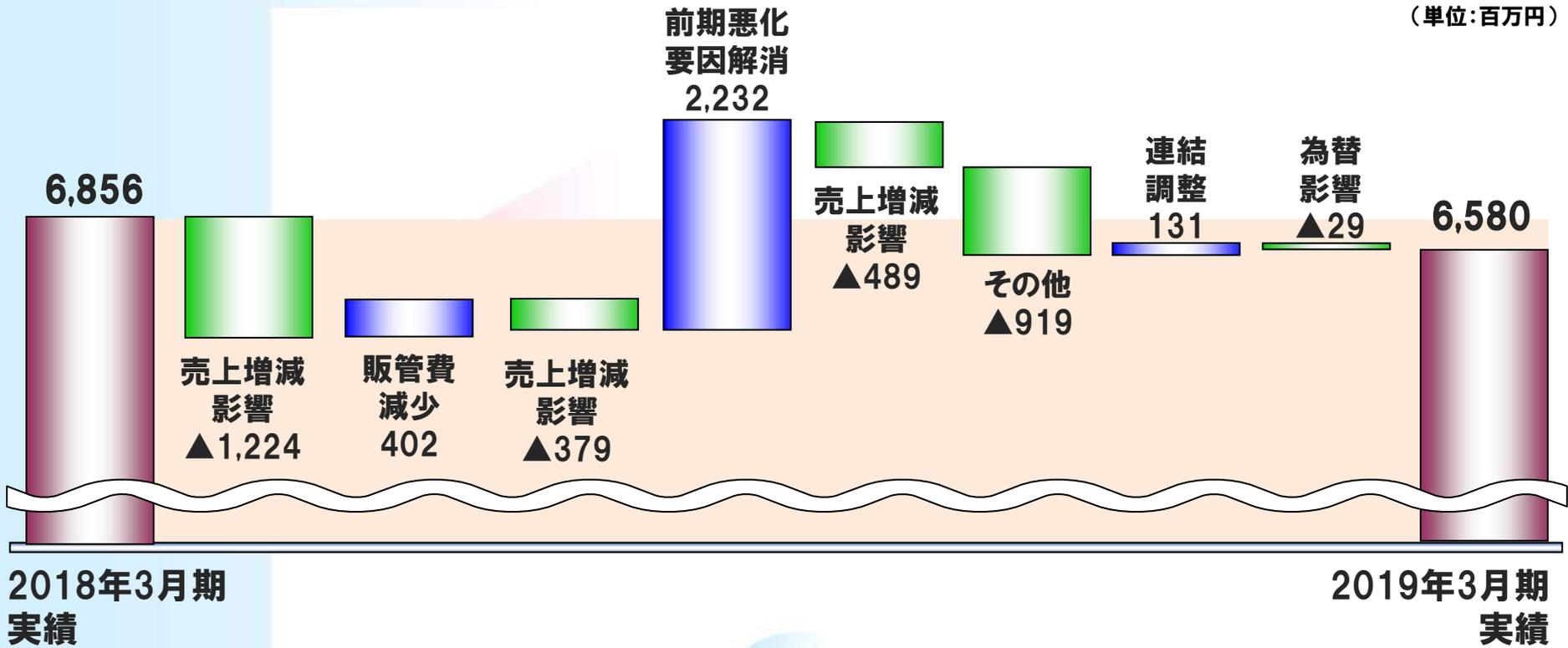
北米

アジア

減益

増益

(単位:百万円)



2018年3月期
実績

2019年3月期
実績

開示内容

当社の北米連結子会社でありますF&P America Mfg.,Inc.(米国オハイオ州)の事業用資産について、収益性が低下したことに伴い減損の兆候が認められ、将来の回収の可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し当減少額を減損損失として計上いたしました。

減損損失計上額 : 19億5千8百万円

(2019年4月25日開示)

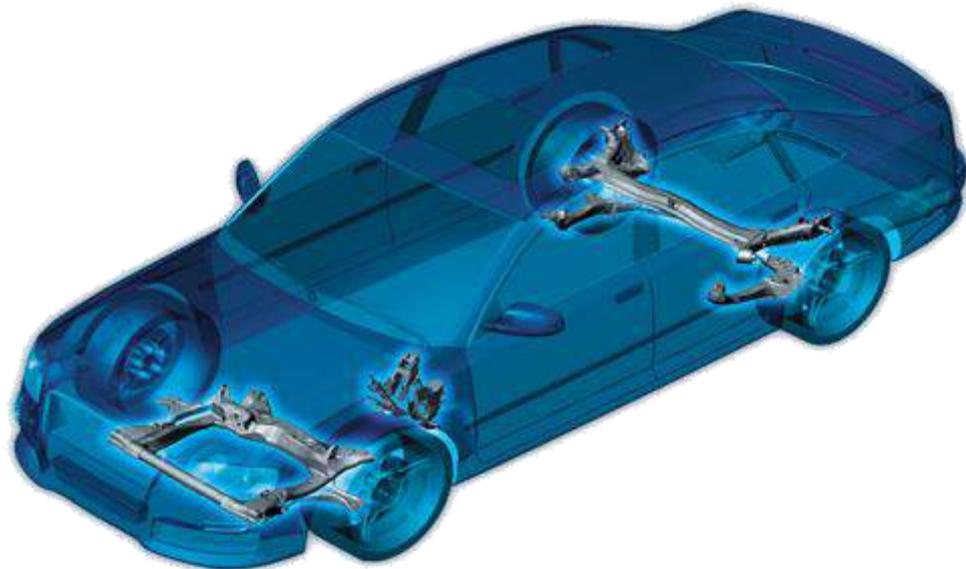
経緯

F&P America Mfg.,Inc.におきましては2期連続の営業赤字を計上見込みでありましたが、改善を重ね良化の兆しが見えて参りました。

しかしながら、4月22日に米国主要得意先における生産体制の変化の発表を受け、今後の受注予測に乖離が発生し当該減損損失の計上に至りました。

今後も更なる改善を進め体質改善を図って参ります。

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

連結業績予想(2020年3月期予想)

(単位:百万円)

	2019年3月期 実績		2020年3月期 予想		増減	
売上高	235,361	100.0%	218,000	100.0%	▲17,361	▲7.4%
営業利益	6,580	2.8%	6,000	2.8%	▲580	▲8.8%
経常利益	5,968	2.5%	5,500	2.5%	▲468	▲7.9%
親会社株主に帰属する当期 純利益	2,844	1.2%	2,500	1.1%	▲344	▲12.1%
1株利益(円)	152.30	—	133.84	—	▲18.46	▲12.1%

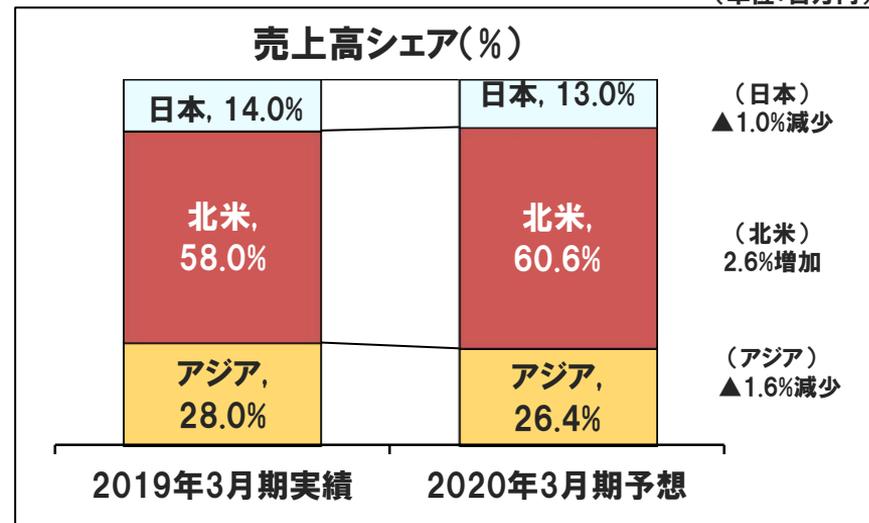
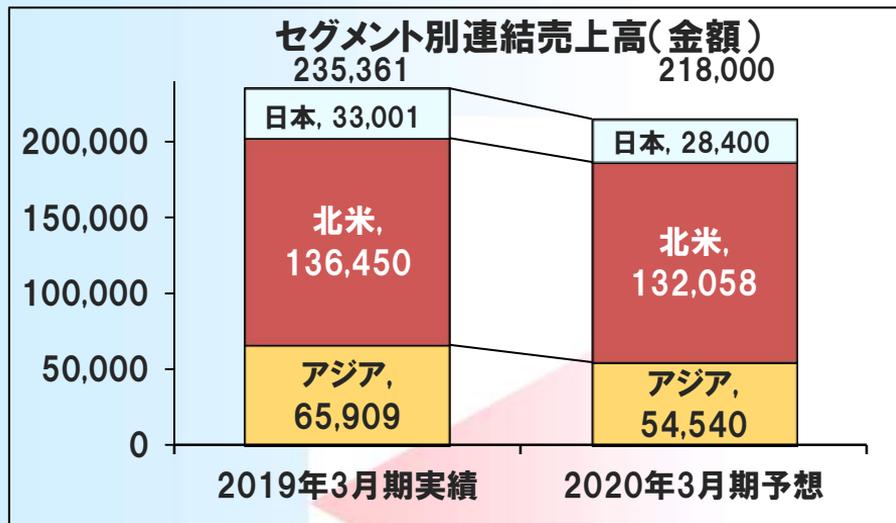
為替

	2019年3月期	2020年3月期	増減額
1US\$	111.08円	107.00円	▲4.08円
1CAN\$	84.48円	82.50円	▲1.98円
1人民元	16.64円	16.00円	▲0.64円

減収減益(減収:主要得意先の生産減少及び為替換算影響、減益:減産影響)

連結売上高(2020年3月期予想)

(単位:百万円)



連結売上高増減

	'19年3月期	'20年3月期	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	33,001	28,400	▲4,601	▲13.9%	—	▲4,601	▲13.9%
北米	136,450	132,058	▲4,391	▲3.2%	▲4,169	▲222	▲0.2%
アジア	65,909	57,540	▲8,368	▲12.7%	▲2,218	▲6,150	▲9.3%
連結	235,361	218,000	▲17,361	▲7.4%	▲6,387	▲10,973	▲4.7%

為替影響及び主要得意先の生産減少、北米は新規得意先で既存得意先の減産をカバー

セグメント別営業利益(2020年3月期予想)

(単位:百万円)

	金額			
	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 予想	増減	増減率
日本	921	125	▲795	▲86.3%
北米	▲54	1,777	1,831	-
アジア	5,275	4,260	▲1,014	▲19.2%
合計	6,142	6,163	21	0.4%
調整	438	▲163	▲602	▲137.3%
連結	6,580	6,000	▲580	▲8.8%

シェア		
2019年 3月期 実績	2020年 3月期 予想	増減
14.0%	2.1%	▲11.9%
▲0.8%	29.6%	30.4%
80.2%	71.0%	▲9.1%
93.3%	102.7%	9.4%
6.7%	▲2.7%	▲9.4%
100.0%	100.0%	-

営業利益増減要因

日本

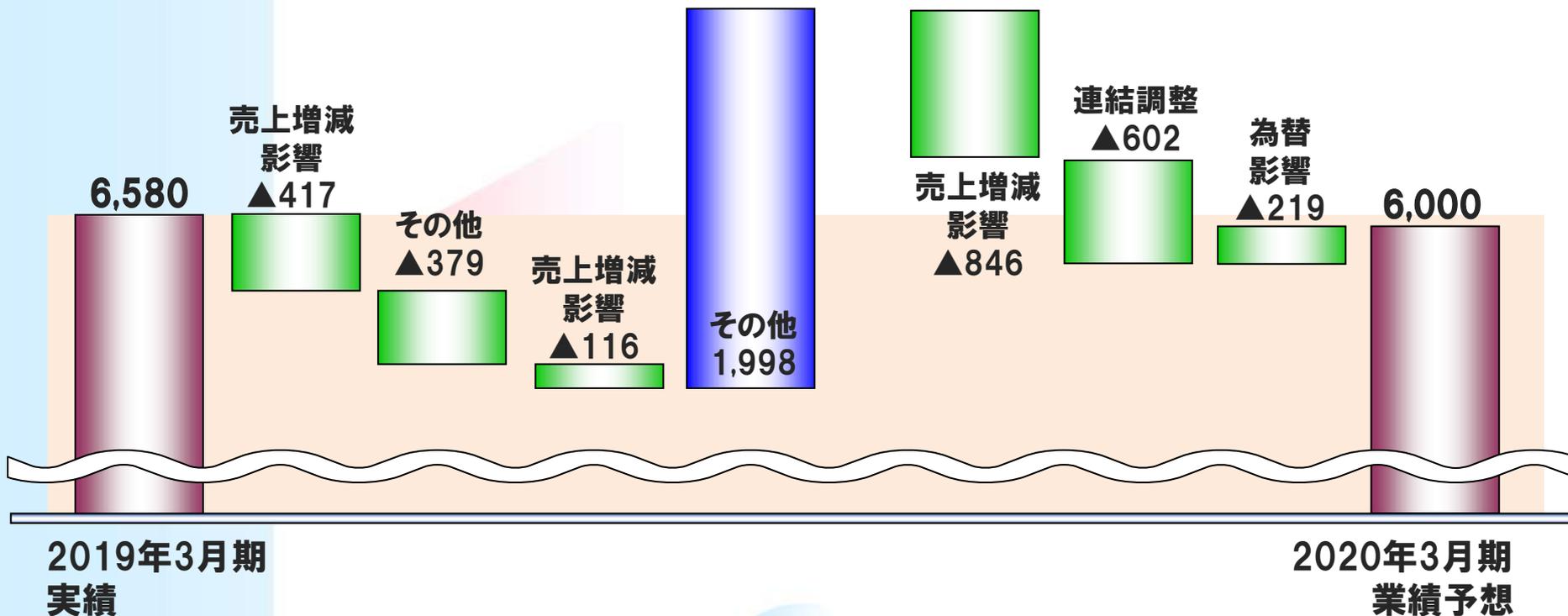
北米

アジア

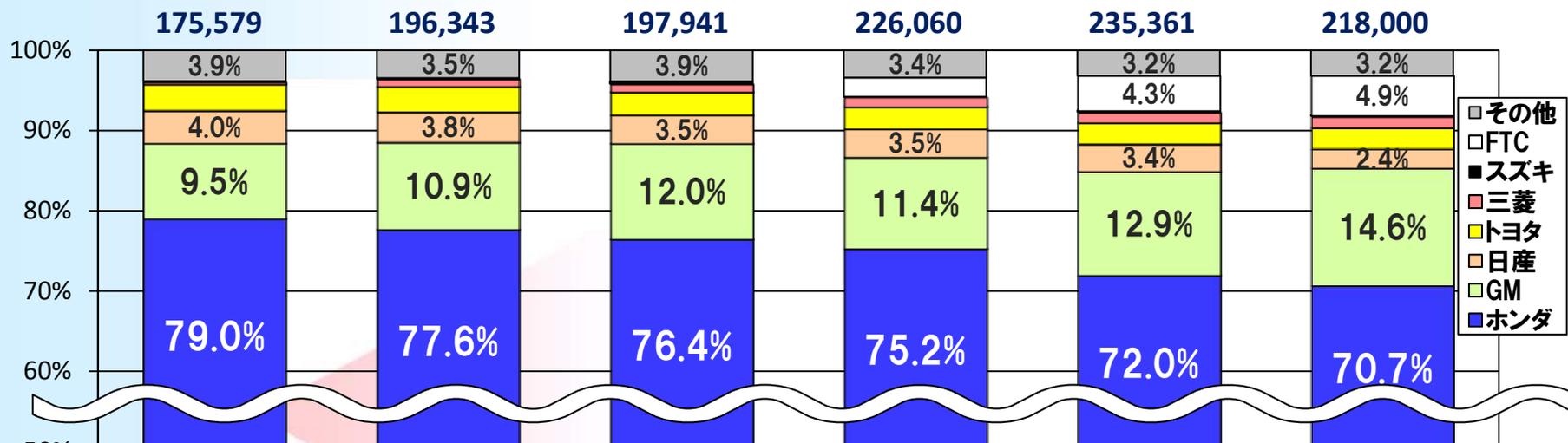
減益

増益

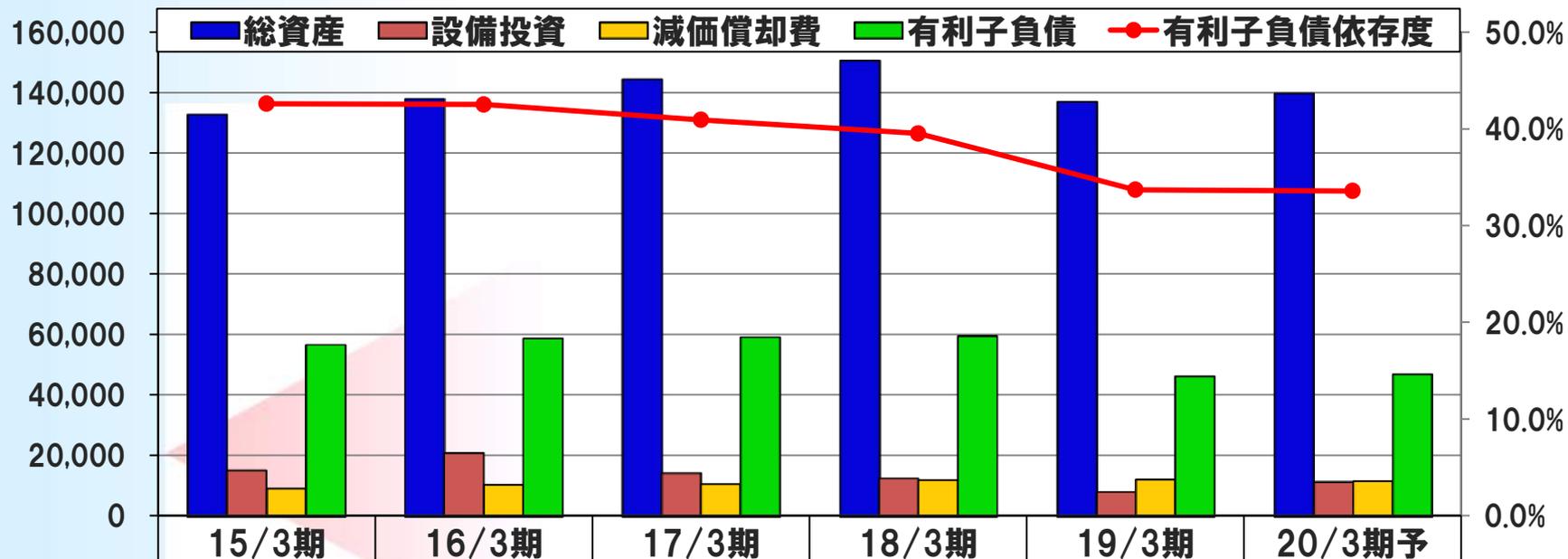
(単位:百万円)



得意先別売上高の推移



	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期計画
ホンダ	138,635	152,435	151,282	170,089	169,512	154,025
GM	16,622	21,345	23,683	25,782	30,258	31,837
日産	7,024	7,435	6,985	7,957	7,977	5,270
トヨタ	5,875	6,204	5,658	6,428	6,300	5,838
三菱	526	1,803	2,036	2,648	3,051	2,958
スズキ	135	321	197	269	472	310
FTC(新)	-	-	373	5,183	10,407	10,738
その他	6,762	6,800	7,728	7,705	7,384	7,024
	175,579	196,343	197,941	226,060	235,361	218,000



総資産	132,697	137,980	144,420	150,525	137,010	139,747
設備投資	14,987	20,578	14,094	12,435	8,056	11,215
減価償却費	8,920	10,081	10,335	11,666	11,720	11,277
有利子負債	56,570	58,686	59,129	59,510	46,220	46,933
有利子負債依存度	42.6%	42.5%	40.9%	39.5%	33.7%	33.6%

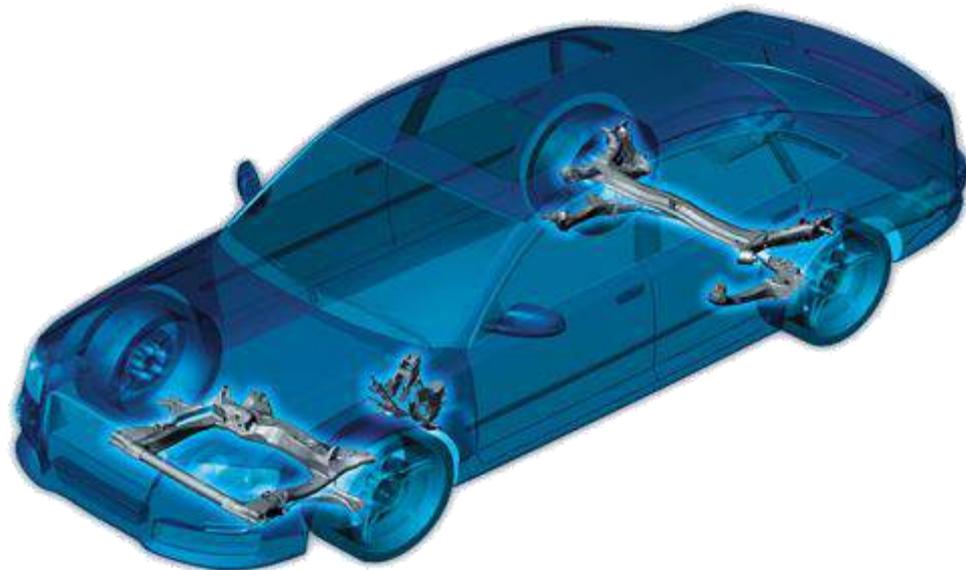
2020年3月期予定

	1Q末	2Q末	3Q末	4Q期末	合計	配当性向
2020年3月期 配当予定	—	10円00銭	—	10円00銭	20円00銭	14.9%
(ご参考)2019年3月期 ※株主総会決議事項	—	10円00銭	—	10円00銭	20円00銭	13.1%
前期比 増減	—	—	—	—	—	1.8%

配当方針

当社の利益配分に関する基本方針は、業績に基づく利益還元を基本としています。財務体質の強化を図りながら利益の状況、将来の事業展開など長期的な視野に立って皆様への利益還元を図ってまいります。配当性向の当面の目途を親会社株主に帰属する当期純利益の10%以上とし、中間、期末の年2回を基本としております。

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

会社方針 Back to Basics, Challenge for New

2017/3月期

2018/3月期

2019/3月期

2020/3月期

実績

連結売上高 -----
1,979 億円

営業利益率 -----
4.1%

有利子負債依存度 -----
40.9%

健全なる財務体質
 高収益企業の実現

目標

連結売上高 -----
2,120 億円

営業利益率 -----
5.0%

有利子負債依存度 -----
35.0%

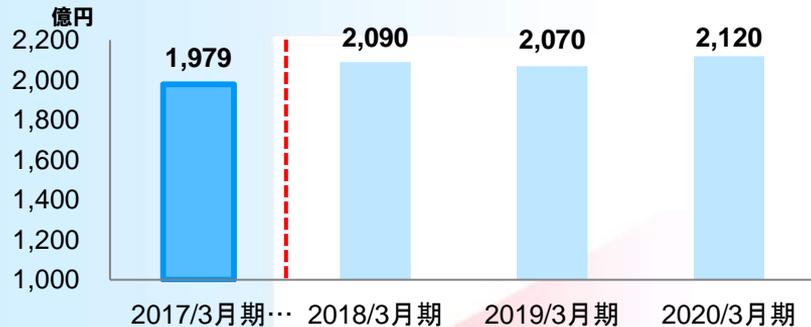
Back to Basics

- お客様に最高の価値を提供する
- 生産拠点は、利益を最大化する
- 機能組織は、コストの最小化と生産拠点へ価値を提供する
- 健全な財務体質を構築する

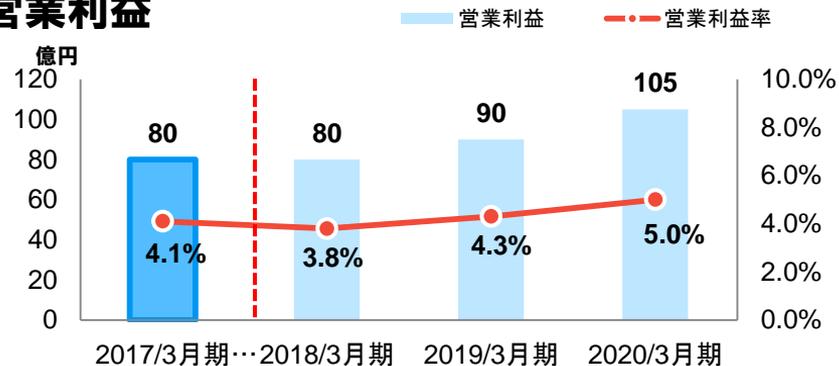
Challenge for New

- 新規重要顧客を獲得、拡大する
- 画期的新製品を提案する
- 新技術・新加工方法を確立する
- 新規事業の企画・推進

売上高



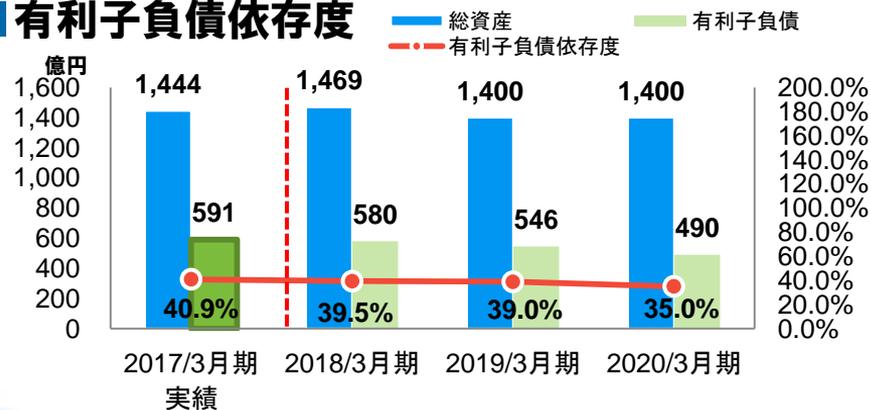
営業利益



投資計画



有利子負債依存度



中期経営計画2年目計画対実績

(億円)

	中期経営計画	2018年度実績	差異	達成
売上高	2,070	2,353	+283	○
営業利益	90	65	▲25	×
投資計画	130	80	▲50	○
有利子負債額	546	462	▲84	◎
有利子負債依存度	39.0%	33.7%	▲5.3%	◎

**売上高、投資計画は計画達成したが、営業利益は計画未達成
有利子負債額、有利子負債依存度は中期計画最終年度の計画達成**

中期3力年経営計画 ～営業利益の計画対比未達成～

中期経営計画 対比実績/見込 未達成項目【営業利益】 (億円)

	実績 / 見込	中期経営計画	差異
2018年度 実績	65	90	▲25
2019年度 見込	60	105	▲45

2018年度

北米地域の立て直しが途上であり、中期経営計画対比で下振れしたことが要因

2018年度 北米地域は営業損失▲54百万円

➡ 北米地域の更なる改善が急務

2019年度

前提条件の変化もあり中期経営計画達成は困難

＜前提条件変化＞

- ・自動車市場変化(セダン→SUV)・関税負荷
- ・労働市場逼迫 ・米国経済鈍化の兆し
- ・中国経済鈍化の兆し ・狭山工場閉鎖

外部要因による改善効果圧迫

米国通商政策 : カナダ、メキシコからの輸入材料に関税負担

主要得意先 : 機種MIXの変化、減産

労務コスト : 熟練者減少→生産時間の長時間化

ダウン

内部改善策への取り組みは計画に基づき進行

【コスト削減】

内作取り込み
倉庫削減
要員削減
etc

【ロスの削減】

プレス単品精度改善
仕損費削減
etc

【生産効率アップ】

作業者習熟度アップ
自動化の推進
etc

アップ

内部改善策を進めているが、外部のマイナス要因が改善効果を減少

北米地域の課題



コストアップ
労務費・外注費＋付随

ロスの増加
仕損/追加検査の発生

生産効率低下
更なる外注の発生

収支の悪化

2018年度取り組み

<コスト削減>
内作取込、倉庫削減
要員削減

<ロスの削減>
プレス精度改善
仕損の削減

<生産効率アップ>
作業者習熟度アップ
自動化の推進

結果

<コスト削減>
外作は一部取込
倉庫削減は実施
要員削減は途上

<ロスの削減>
プレス・仕損は更なる
改善が必要

<生産効率アップ>
作業者への教育は
実施中だが、退職者
も多く効果は限定的

各種改善策を進め徐々に効果は出始めているものの、
自動車減産のマイナス効果で一部消去

2019年度取り組み

コスト削減

- ・物流改善：ラインレイアウト変更による工場内導線効率化
- ・内作取込：更なる生産性向上で内作取込のスピードアップ
- ・要員削減：物流改善による部品配膳要員の削減

ロスの削減

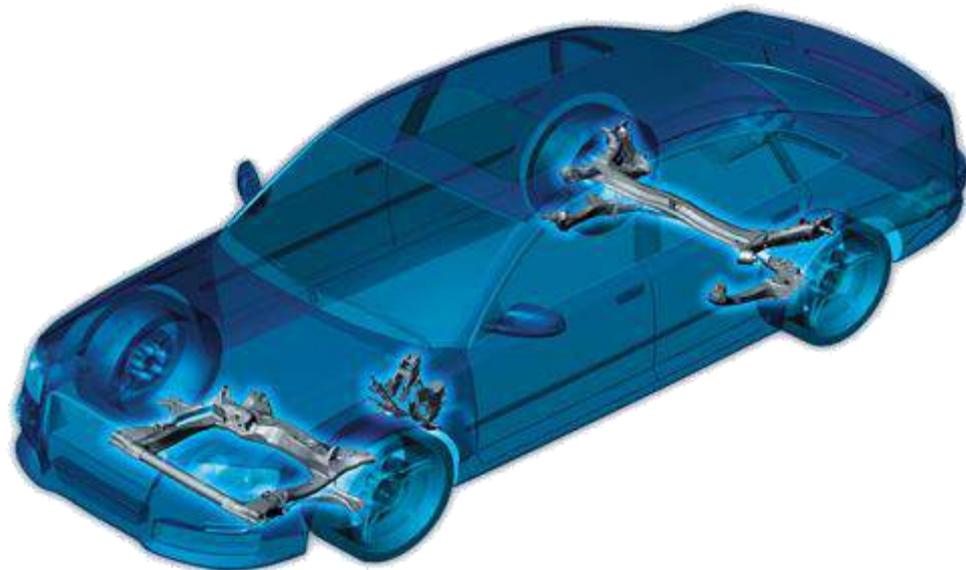
- ・プレス精度改善：不具合金型の改善、熟練者育成
- ・仕損の削減：プレス精度の改善、熟練者育成による改善のスピードアップ

生産効率アップ

- ・熟練者の育成：日本のサポート要員によるOJT徹底
退職しない職場づくりの推進
- ・自動化の推進：SUV系ラインを中心とした自動化推進

熟練者育成が急務であり、本社サポートを拡大。徹底した現場指導を行う。

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. **トピックス**



代表取締役社長
福田 祐一

Honda

全グローバル車種 部品供給率 100%

軽量化と強度・剛性を両立し、高い信頼性を獲得。

GM

【サスペンション、マウント部品供給】

2019年度 世界生産シェア*
FR 30.6%/RR 20.7%



サスペンション、マウント部品中心
～新規顧客からも新規受注/生産開始～

日系メーカー

【コントロール部品供給】

コントロール部品を中心に
日産、三菱、スズキから多数受注

日系メーカーからマウント部品を新規で受注
(北米で生産)

米系メーカー

【サスペンション、マウント部品供給】

サスペンション、マウント部品中心
更なる受注に向けて販路拡大

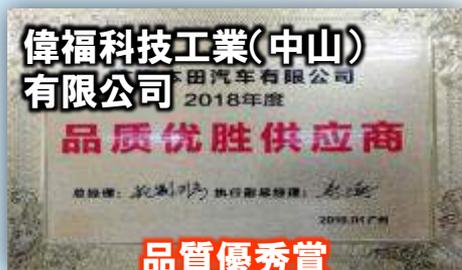
得意先のニーズに的確に応える事で
国内外のOEMメーカーから継続/新規受注獲得

受注・生産状況 ~2019年3月期生産開始新機種~

地域	得意先	1Q	2Q	3Q	4Q		
日本	HONDA	N-VAN 亀山 ⇒日本	CR-V 久喜 ⇒日本	VEZEL 久喜 ⇒EU	INSIGHT 久喜 ⇒日本		
	OTHER						
北米	HONDA	RDX, INSIGHT FPA ⇒北米	PILOT FPG ⇒北米	ACURA ILX FPA/FPG ⇒北米	MDX FPG ⇒北米		
	OTHER				Chevrolet Blazer FPMX ⇒北米		
中国	HONDA	CDX FTZ ⇒中国	CRIDER FTZ ⇒中国	SPIRIOR FTW ⇒中国	RDX FTZ ⇒中国	理念EV FTZ ⇒中国	CRIDER FTW ⇒中国
	OTHER	KICKS FTZ ⇒中国	Chevrolet ORLANDO FTW ⇒中国		Buick Excelle BEV FTW ⇒中国	Cadillac XT6 SHAC ⇒中国	BUICK Excelle 他 SHAC ⇒中国
ア 大	HONDA				CIVIC FMTL ⇒タイ	BR-V FTI ⇒インドネシア	
	OTHER	ERTIGA FTI ⇒インドネシア	新規F FMTL ⇒タイ	ERTIGA VEEGEE ⇒インド	WGN-R VEEGEE ⇒インド	FUTURA FTI ⇒インドネシア	

【見方】
機種名
生産拠点
⇒納入先
 ※一部のみ表記

ホンダ



GM



F&P Mfg



トヨタ

F.TECH PHILIPPINES
MANUFACTURING
INC.



エフテックグループで得意先から各種表彰
継続してグループの品質レベルを高水準で維持していく

<エフテックの独自開発技術>

人のノウハウとシミュレーション 技術を融合し最適設計を実現

OPTISTRUCT
(最適設計ツール)
LINER ANALYSIS

Crush: Abaqus

NV: NASTRAN

Sus Characteristic: ADAMS

設計精度の向上

- ・製品性能(強度・剛性・振動)
- ・製造領域(プレス・溶接・塗装)
まで加味した設計を実現

軽量化の 更なる向上

空間梁解析
↓
強度・剛性・衝突性能と
軽量化を両立

開発スピード の向上

- ・試作機会の極少化
- ・設計精度の向上
↓
開発期間2ヵ月短縮

素材メーカーとの共創

-材料進化-

適用グレード拡大 (超ハイテン化)
590/780材 ⇒ **980/1180材**

材料・工法に合わせた
製品仕様/形状のアウトプット

・衝突性能
・剛性 (操安/NV)
・強度
からの最適板組み

-加工技術
・成形手法
・CAE/予測技術
・材料知見
・評価指標

ボディ骨格部品

- ◆材料
 - ・鋼板: 高ハイテン薄板メイン (780~980Mpa級)
- ◆接合
 - ・抵抗溶接メイン (SPOT/Projection Weld)



Bodyメーカーとの共創

シャーシ足廻り部品

- ◆材料
 - ・鋼板: 比較的厚板メイン (270~590Mpa級)
- ◆接合
 - ・MIG溶接メイン (P.W.併用)



両社Know Howを融合
生き残りをかけた新たな領域へチャレンジ

超細密塑性加工



日刊工業新聞社様主催
『超』モノづくり部品大賞2018
モビリティ関連部品賞 受賞



○ 4か所増肉
/// 全面減肉

素材板厚から
『+1mm』の増肉
『-3mm』の減肉
⇒END PLATE
18%軽量化

+1mm

素材

増肉

-3mm

減肉

トランスファープレス機の生産効率の改善 平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞 受賞



パトライト
(光で確認)



電光カウンター
目で確認



メロディ
(音で確認)



100個
入り
パレット

カウント最終品を間欠送りで間隔を変える

- 【効果】
- ・効率アップ(前年比25%)
 - ・残業時間削減
 - ・内作削減効果

平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰
創意工夫功労者賞 表彰状授与儀式



「エフテック コーポレートガバナンスコード」改訂 「わたしたちの行動指針」改訂

改訂項目

- ◆株式の政策保有に関する方針
- ◆適切な情報開示
- ◆経営陣幹部の育成計画
- ◆独立社外取締役の役割
- ◆経営陣幹部の選解任、
取締役・監査役候補の指名
- ◆取締役会・監査役会の構成
- ◆株主との建設的な対話

※コーポレートガバナンス報告書にて
当社のスタンスを明確化



社会の期待に応えていくため、
エフテックグループは持続的成長及び企業価値向上に努めます

日経IRフェア2018 出展

2018年

8月31日、9月1日

- 場所:東京ビックサイト
- 会社説明会、ブース出展



機関投資家様向け 施設見学会

2018年

9月28日、10月12日

- 場所:芳賀テクニカルセンター
亀山事業所
- 内容:研究所、工場見学会



個人投資家様向け 会社説明会

2018年

2019年

10月24日、2月15日

- 場所:埼玉県草加市、
さいたま市(大宮)
- 人数:各100名程



個人投資家様、機関投資家様向けに積極的なIR活動展開

人とくるまの テクノロジー展 出展

2018年

7月11日～7月13日

- 場所:ポートメッセ なごや
- 内容:ブース出展



オートモティブワールド'2019 クルマの軽量化技術展 出展

2019年

1月16日～1月18日

- 場所:東京ビッグサイト
- 内容:ブース出展



人とくるまの テクノロジー展 出展

2019年

5月22日～5月24日

- 場所:パシフィコ横浜
- 内容:ブース出展



企業ブランドと認知度向上、ビジネスチャンスへ繋げていきます

地域の環境保全活動

- ・エフテック森林づくり
- ・備前堀川クリーンアップ活動
- ・アダプトプログラム
- ・敷地外製造活動
- ・工業団地清掃活動
- etc.



ダイバーシティへの取り組み



教育文化への貢献

- ・小学生の工場見学
- ・高校生の現場実習
- ・大学生の研究活動への協力
- ・工業系の学校教員の研修支援
- ・各種技術視察団に対する協力
- etc.



奨学財団

首都圏の大学31校の44名の学生
に対し奨学金給付を開始 ※2018年度実績



エフテックグループはESG,CSRの領域として、
人材育成支援、森林づくり、地域での清掃活動等に取り組んでいます

2018年10月11日：シンガポール 環境省より 「エネルギー効率国家 パートナーシップ (EENP) 賞2018」 講演要請があり参加

EENP
AWARDS
2018



INDUSTRIAL ENERGY EFFICIENCY
SHARING SESSION



Global Ftech
ENERGY
Management System

【参考】

2016年6月：Energy Management Insight Award

2017年1月：省エネ大賞 省エネ事例部門
省エネルギーセンター会長賞受賞

2017年1月：Honda優良感謝賞(環境)
Hondaグリーン大会
グローバル大会 優秀賞
日本地域大会 優秀賞

ご清聴ありがとうございました



本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績と記述としている将来見通しは、大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

IR情報のお問い合わせ、取材申し込みは

株式会社エフテック 管理本部 総務ブロック/経理ブロック

代表TEL 0480-85-5211

Mail webmaster@ftech.co.jp

Appendix

Appendix ~連結貸借対照表(2020年3月期末予想)~



	2019年3月期	2020年3月期	増減
	実績	計画	
現金及び預金	7,192	6,302	▲ 889
受取手形・売掛金	33,667	35,767	2,100
棚卸資産	17,728	19,228	1,500
その他	2,866	3,995	1,129
流動資産	61,453	65,293	3,840
有形固定資産	66,392	66,789	397
無形固定資産	343	343	0
投資その他資産	8,822	7,322	▲ 1,500
固定資産	75,557	74,454	▲ 1,103
総資産	137,010	139,747	2,737

有利子負債残高	46,220	46,933	713
有利子負債依存度	33.7%	33.6%	-0.2%

	2019年3月期	2020年3月期	増減
	実績	計画	
支払手形・買掛金	22,838	21,969	▲ 869
短期借入金	12,650	14,650	2,000
1年以内長期借入金	12,660	12,660	0
その他	8,854	8,226	▲ 628
流動負債	57,002	57,505	503
長期借入金	19,728	18,283	▲ 1,445
その他	3,449	4,102	653
固定負債	23,177	22,385	▲ 792
負債合計	80,179	79,891	▲ 289
株主資本合計	42,127	44,253	2,126
その他包括利益累計	▲ 282	▲ 287	▲ 6
被支配株主持分	14,985	15,890	905
純資産合計	56,831	59,856	3,025
負債純資産合計	137,010	139,747	2,737

剰余金増加

Appendix ～連結キャッシュフロー表(2020年3月期末予想)～

	2019年3月期	2020年3月期	増減
	実績	計画	
営業活動キャッシュフロー	23,142	11,227	▲ 11,915
投資活動キャッシュフロー	▲ 6,820	▲ 11,215	▲ 4,395
財務活動キャッシュフロー	▲ 14,851	▲ 783	14,068
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 151	▲ 119	32
現金及び現金同等物の増減額	1,320	▲ 889	▲ 2,209
現金及び現金同等物の期首残高	5,872	7,192	1,320
現金及び現金同等物の期末残高	7,192	6,302	▲ 889

